

2019年
(平成31年)
4月8日
月曜日
第1883号

酒販新聞

THE SYUHANSHIMBUN

毎月8・18・28日発行 (昭和30年5月23日第三種郵便物認可)

「令和」 決ま って

新元号が「令和」に決まって、酒類業界の改元と新天皇即位を祝う商戦も一段と熱を帯びている。関連商品を売り出したメーカーや取り扱う卸業者はいずれも喜びの席に賀ムードに乗って売り上げを増やしたい量販小売店や業務用市場からの引き合いが予想以上」と話している。

改元商戦、一段と熱

清酒業界 “トンネル脱出” のきっかけ探る

アサヒビールは来月1日から「スーパードライ」「クリアアサヒ」「クリアアサヒプライムリッチ」「アサヒ極上ハキレ味」「アサヒスタイルフリー」の5ブランドで改元記念商品を発売する。新元号が発表された1日の段階で販売計画の1・5倍の計約42万ケースを受注し、人気爆発。特にラベルに「祝 令和」の文字を入れたスーパードライの中瓶と350ミリリットル缶はひと

つぱりだこの状態。サントリビールは9日、ザ・プレミアム・モルツなどの「寿デザイン缶」を売り出す。清酒業界では慶事を機に暗いトンネルから抜け出そうと積極的に商戦に参加しているメーカーが少なくない。白鶴酒造が来月1日に搾る限定醸造の純米生原酒「特撰 白鶴 令和初しほり」720ミリリットル瓶は「卸業者、量販小売店のほか、各業態の酒販店、飲食店から問

「祝 新元号 白雪 御神酒純米 金ポトル」イメージ画像



梅乃宿酒造は平成最後と令和最初の搾りの組み合わせ「ゆとりセット」の作成例



0ミリリットル瓶2本詰めを5月2日から売り出す。元々めでたい名も

に命名。以来祝い事の席に最適の酒として知られている。今回の「御慶事」も全国の酒販店から注文をもらっている。祝賀需要を見込んで生産量を増やした。

い合わせや注文が想定以上に多い(同社広報と沸き立っている。小西酒造の「祝 新元号 白雪 御神酒純米酒 金ポトル」300ミリリットル瓶も「受注が活発」(同マーケティング部)。渡辺酒造店(岐阜県飛騨市)が同日搾る「蓬菜 新元号 令和 吟醸」72

搾り酒」720ミリリットル瓶も3月14日の予約受注開始から程なく予定数量1万本の半分が売れた。梅乃宿酒造(奈良県葛城市)では、企画をひとひねりした「平成最後」に絞った酒と令和最初に搾った

清酒には元々、祝賀にふさわしい名称を持つ銘柄の商材も少なくない。「御慶事」の青木酒造(愛知県半田市)大橋明宏・酒の文化館館長は「新元号と『國盛』の銘柄を合わせた新天皇即位にぴったりの記念商品を発表する」という。

一方「御代米」の北島酒造(滋賀県湖南市)では「問い合わせはあるが一過性のもので過剰な期待はしない」と冷静。「君栄」の秋田県醸酵工業(秋田県湯沢市)は「今から売り込み策を考えたい」という。